

2002年度
Block 4 テュートリアル課題

課題番号 4

頭痛のたね？



~~無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい。~~

脳神経外科学 糟谷英俊

2003-B4-T1-4

△△△△の前頭

2002-B4-T1-4

頭痛のたね？

シート1

鈴木節子さんは23歳の会社員です。仕事を始めてから、時々こめかみに締め付けられるような頭痛があります。薬局の鎮痛薬が手放せなくなっていました。友人にすすめられて病院でよく調べてもらうことにしました。

<抽出を期待する事項>

頭痛 (A-3)

CT(B-T)

(I-A) 頭痛 X 慢性頭痛
中等症

2002-B4-T1-4

頭痛のたね？

4-T1-B4-2002

? 以上の原因

シート 2

病院では、頭部単純X線撮影（資料1）とCT（資料2）が行われました。CTで影があるため、さらに検査が必要と言われました。この影は頭痛の原因ではないかも知れないと言われました。不安な気持ちで帰宅しました。

<抽出を期待する事項>

CT (B-1)

頭部単純X線 (B-1)

中枢神経解剖、機能 (A-1)

<貢献する事項>

(E-A) 認識

2002-B4-T1-4

頭痛のたね?

B4-T1-4
2002

頭痛のたね?

シート3

初診から1ヶ月後、朝からこれまでに感じしたことのないような頭痛が続き、吐いてしまいました。そのうち起きることができなくなり、救急車で病院へ行きました。診察の結果は以下のようでした。

神経学的所見

意識は閉眼し呼びかけて開眼しますが、すぐに閉じてしまいます。名前は答えられますが、自分の住所は間違えてしまいます。瞳孔は両側とも3mmで正円、眼球運動も正常でした。対光反射もありました。右の上下肢の力は弱く、腱反射はやや低下し Babinski 反射を認めました。左の上下肢は曲げて下さいというと曲げられます。感覚障害はないようでした。首の後ろは硬く、痛くて屈曲できません。

すぐにCTが行われました(資料3)。

<抽出を期待する事項>

神経学的所見 (B-3)

意識障害 (A-4)

中枢神経解剖、機能 (A-1)

脳室の構造 (A-1,A-2)

脳動静脈奇形の診断、病態 (B-4、C-1)

中枢神経系疾患の鑑別 (B-2)

頭痛 (A-3)

2003-B4-T1-4
?は式の高頭

2002-B4-T1-4
頭痛のたね?

シート4

出血があり脳の圧が高いので、髄液を排除する脳室ドレナージが必要と言われました。資料4はこれまでに撮影された MRA (MR angiography) MRV(MR venography)です。原疾患の治療については、出血による症状がおちついてからよく考えましょうと言われました。

<抽出を期待する事項>

脳血管 (A-1,B-1)

脳動静脈奇形の診断、病態、治療 (B-4, C-1, C-2)

髄液循環 (A-2)

(C 特質) おまかせ CT 及び MRI

<算事まで各限る出典>

(B-3) 頭頸部学登軒

(I-A) 審神鑑意

(I) 脊髄・脊椎盤中

(A-I,A-2) 脊髄の室細

(I-A,C-1) 脊髄・神経の疾患解説 (B-4, C-1)

(S-B-2) 限識の脳炎系盤中

(S-A) 前頭